

国労

蘇我運輸区分会ニュース

第6回執行委員会②

4月30日（日）12時～ RARA



→（注）分かり易いように適当に作った架空のもので、実在はしません。

指令員からの
接続指示の問題点
私たち車掌は、担当列車が途中遅れて、例えば蘇我駅で乗り換え列車への時間が、微妙なタイミングの時、指令に確認を取ります。
その際、指令員と、下別枠のようなやり取りが交わされま
す。勿論車掌は早い段階で問い合わせを行な

（蘇我駅17:25着列車の乗り換え）

内房線：	各駅君津	17:31
外房線：	各駅勝浦	17:29
上り：	快速大船	17:35

（当該列車が5分遅れの際の通達）

- ① 指令員「蘇我駅場面、1765Mは所定接続、1743Mは不接（乗換えを待たない）とします。」
- ② 車掌「各駅停車の君津行きが、不接でしょうか？」
- ③ 指令員「①をくり返すのみ」
- ④ 車掌「????？」

ているわけですが・・・
本会議で問題提起されたのが「その時、指令員は一方的に列車番号（以下、列番）ばかり言ってくるが、どこ行きの列車だか全く分

からず、それを聞き返しても答えてくれない」といった声でした。
中には丁寧に対応してくれる人もいますが、殆どはこんな感じです。
別枠の架空事例も普通に考えたら、29分発の勝浦行きが所定の接続かと思いますが、その時の運行状況次第では逆となる場面も多々あり、車掌は憶測では動けません。迅速に正確な情報把握が必要となります。こうした声は、車掌全体のものであり、何故指令

員が行き先でなく列番でしか言ってくれないのか不満が募ります。



迷惑を被るのは

最後は利用者！

以前のように、乗務カード、乗り換え案内カード、紙ダイヤが別々にあった時はそれでも素早く対応出来たのですが、

作業で「あつという間に時間が過ぎて駅に着いたらあつたよ」という場面も珍しくありません。
これは車掌と指令員だけの話ではなく、(場合によっては)最終的には利用者が不利益を被る問題であり、もっと迅速に確実に伝わる努力をすべきだと思います。

現在はこちら全てが1つのタブレットに押し込められていて、運行中に特にダイヤ画面を出すのは大変な作業で、更に紙ベースの半分に縮小されたタブレット画面から当該列車を探すのは、精神的にもキツイ

こちら車掌は時間に負われている仕事の中で列番ではなく、ストリートに〇〇行きとの伝達を要請します。

5・8「コロナ」5類への移行（ウィズ・コロナで！）

今月8日よりコロナに関する捉え方が、インフルエンザ並みの5類に引き下げられることは周知の通りであります。この3年間押さえつけられていた鬱憤が一気に吐き出された感が社会全体で起こっています。結果として社会全体が明るくなり、経済が回り、これまで地獄を味わった人たちが日の目を見られそうになるのは大変喜ばしいことと思います。が、ウィルス自体は終息せずに存在し続けていることも頭に入れておかなければなりません。対策は本人任せとなりますが、気を緩めすぎるのではない生活を継続したいものであります。

☆ タブレット内の案内カードに「〇〇行き」等の表記と共に列番を記載してもらっても良いかな・・・という声も。